

# 実施項目

項 目	実 施 事 項	実 施 内 容
1.地域福祉活動の充実強化	介護予防・生活支援事業の実施	介護予防健康増進事業の実施(しゃんしゃん生き生き体操教室) 毎週火曜日 全49回実施
		ミニデイサービス事業の実施 毎週火曜日 毎週火曜日 全49回実施
		介護予防生活支援ホームヘルプサービス事業の実施
		介護予防生活支援体制整備事業の実施(生活支援コーディネーター配置) 地区サロン補助 訪問活動
		高齢者世帯日常生活支援相談事業の実施 (相談支援員の訪問)
		一人暮らし世帯親睦交流事業(食事サービス)の実施
		外出支援サービスの実施(一般の交通機関を利用することが困難な高齢者の医療機関等の送迎)
		高齢者世帯等除雪サービス事業の実施
		一人暮らし等高齢者世帯の防火診断(安否確認) 町・消防署
		一人暮らし高齢者の日常生活必需品買い物支援の実施 年2回実施
		一人暮らし等高齢者へのメッセージカード贈呈事業の実施
		日常生活自立支援事業(あんしんサポート事業)の実施 金銭管理・支払代行
		福祉車両(車椅子同乗)の貸出
		ギャジベッド・エアーマット等福祉機器の貸出
	敬老祝い品贈呈事業	
健康維持増進事業の実施	健康ウォークの実施(4月～10月)	
	ニュースポーツの普及による健康維持増進を図る。	

	要援護世帯の自立更生促進	生活福祉資金の利用促進を行い、生活の維持と安定を図る。 生活困窮者自立促進支援事業の促進 歳末たすけあい募金の配分
2.心配ごと相談事業の推進	心配ごと相談所の開設	毎月2回開設(第3日曜日、25日) [定例相談] 児童相談の開設(毎月25日) [定例相談]
	心配ごと相談の機能強化	各種相談員研修会等に参加し資質の向上に努める。 関係機関との連携により相談者のさまざまなニーズに対応する。
3.ボランティア活動の推進	ボランティア活動の普及	ボランティア保険への加入促進 ボランティアセンター機能の整備促進
	ボランティア・福祉教育の推進	社会福祉(ボランティア)講座の実施(5回)
		福祉出前講座の実施(車椅子体験、高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座等)
		小中学校を拠点とし福祉活動を実践する児童生徒のボランティア活動普及事業の推進・助成
		児童生徒の福祉に対する理解と関心を図るため、高齢者疑似体験等を通じ福祉教育を実践する。
児童生徒に対し認知症サポーター養成事業を通じ福祉教育を実践する。		
4.広報・啓蒙活動の推進	調査広報啓蒙活動の推進	福祉関連の情報収集・提供を図る。 ホームページによる情報の配信 広報誌の発行、町広報等への記事掲載
5.老人福祉センターの運営	施設の管理運営	適切な施設の運営管理を行い、利用者への良質なサービス提供、利用促進を図る。
	各種事業の推進	入浴開放事業を推進し健康維持増進、生きがい作りを図る

	各種事業の推進	各種教室事業を推進し健康維持増進、生きがい作りを図る
6.福祉団体の育成	各福祉団体の育成指導協力	民生児童委員と連携を密にし、福祉サービスの充実強化を図る。
		老人クラブ連合会と連携を強化し高齢者福祉の充実に努める。
		身体障害者福祉会と連携を強化し身体障害者の自立更生、社会参加活動を促進する。
7.共同募金会事業の協力	共同募金会活動の協力	福島県共同募金会磐梯町委員会事務局事務、町委員会活動の実施
	赤い羽根募金の推進	赤い羽根募金活動の積極的な展開 〈募金キャラクターキーホルダー作成による啓発(文化祭)〉
		配分金による各福祉団体への助成
		配分金による各福祉活動の充実を図る。
	歳末たすけあい募金の推進	歳末助け合い募金活動の積極的な展開
		民生児童委員の協力により、配分対象者の調査、配分の実施
一般公募による配分により小地域福祉活動の充実を図る。		
8.日本赤十字社事業の協力	日本赤十字社活動の協力	日本赤十字社福島県支部磐梯町分区事務局事務、分区活動の実施
		日本赤十字社社資増強運動の実施
		献血運動の推進
9.財政基盤の確立	会員加入促進	会員の加入を促進し自主財源の確立に努める。
		特別会員、賛助会員の加入促進
	共同募金活動の推進	赤い羽根募金活動の積極的な展開により財政基盤の確立に努める。